

# 第11回（2013年度）日本時間生物学会 学術奨励賞公募のお知らせ

学術奨励賞制度は時間生物学領域で顕著な業績をあげ、今後の活躍が期待される若手研究者を表彰するものです。原則として基礎科学部門1名、臨床・社会部門1名の計2名を表彰します。自薦・他薦を問いませんので、どしどしご応募下さい。応募にあたっては下記の様式に従って書類一式を提出して下さい。なお、昨年度から、臨床・社会部門の応募年齢が応募時点で41歳以下となりました。基礎科学部門の年齢制限は37歳以下です。

応募締め切り：平成25年8月31日（土）必着

日本時間生物学会学術奨励賞選考委員長  
柴田重信（早稲田大学）

## 日本時間生物学会学術奨励賞候補者調書

1. 希望審査部門：基礎科学部門もしくは臨床・社会部門の一方を選択
2. 氏名（ふりがな）：
3. 生年月日：
4. 現職：
5. 最終学歴ならびに職歴：
6. 日本時間生物学会の会員歴、ならびに学会活動（学会発表、掲載誌への寄稿、学術大会運営等）：
7. 学会等での表彰歴：
8. 本件に関する連絡担当者名とメールアドレス：
9. 業績
  - (1) 研究課題名：
  - (2) 研究の内容：
  - (3) 時間生物学に対するこれまでの貢献と今後の可能性（具体的に分かり易く記述すること）：
  - (4) 論文リスト：

上記の内容をPDFにしたものをE-mailで、プリントアウトしたものを郵送で日本時間生物学会事務局までお送り下さい。

応募書類あて先：〒464-0814 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻内  
日本時間生物学会事務局 海老原史樹文  
メール送り先：ebihara@agr.nagoya-u.ac.jp